

昭和二十五年十二月十三日提出
質問 第二六号

終戦処理費に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和二十五年十二月十三日

提出者 横田 甚太郎

衆議院議長 幣原喜重郎 殿

終戦処理費に関する質問主意書

戦い終つて数年、敗戦日本も講和の遅きをうんぬんされるようになってきた。占領軍の中核的存在であった米軍の数も、めつきり最近では激減しているのに、終戦処理費はどのようにして減らないのか。

右質問する。